

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52 (19) 54 (20)	リビングや各居室がすっきりしすぎて個性が感じられない。	リビングに、生活の場としての物品を配置したり、各居室は入居者様の趣味や好みに合わせて、居心地の良い場所となるように工夫する。	・生活感を得られるよう、新聞や雑誌・生花などをさりげなく置く。 ・家族様にお願いし、使い慣れた家具など馴染みのものを持ち込んでいただく。	6ヶ月
2	40 (15)	共通のたのしみである食事をもっと楽しめるように工夫が必要である。	入居者様を主体とした献立作りなどでコミュニケーションを図る。	・誕生日の方には「リクエストメニュー」として、その方の食べたい物をお聞きし、その日のメニューとする。 ・外食の際は入居者様の希望を聞き、行き先を決める。	12ヶ月
3	6 (5)	リビング～玄関ホールへのドアが時間帯によって施錠されている。	高速道路へ向かう車の通行量が多く、大変危険ではあるが、基本的に常時開放できるようにしていく。	・身体拘束防止委員会や全体会議などで、施錠の必要性・安全性・危険性を検証し、開錠に向けて改善方法を検討する。 ・正面玄関の自動ドアは、開閉時にチャイムが鳴ったら、すぐに職員が人の出入りを確認する。	12ヶ月
4	2	地域住民との関わりが不十分である。	地域の方々に事業所の存在を知っていただき、気軽に訪問していただきやすい雰囲気を作る。	・町内会の草刈や溝掃除に、引き続き参加する。 ・地域の餅まきや文化祭には、入居者様と一緒に参加する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。